

## 新規就農者(自営) 新規参入 3

氏名	河西 禎雄さん(51才)
家族構成	妻、子ども2人(高一、中一)
市町村	南会津町
ホームページ	
就農形態	新規参入



### 1 経営の概要

- (1) 主な営農部門と規模 : ハウストマト 25a
- (2) 労働力 : 本人、妻(40代)
- (3) 販売方法 : トマト:JA出荷
- (4) 営農上の特記事項 : 少量肥料の有効活用を行っている。

### 2 プロフィール

- 昭和33年7月 東京都港区生まれ  
平成18年3月 トムビジネスシステム(株) 退社  
平成18年4月 南会津町転入。南郷トマト農家でトマト栽培全般の研修を受ける。  
平成19年4月 南郷地区でトマトのハウス栽培(22a)の農業を始める。

### 3 就農の動機

以前から自然や農業には関心はあったが家庭菜園の範囲内であった。  
会社勤務をしていた頃、23年間営業の仕事で人間関係や会社への不安等が重なったこともあり、今回の就農に至った。

### 4 就農時の取り組み

- (1) 就農を決意した理由  
生産者組合、JA、自治体が三位一体で就農に力を入れていたので、就農を決意した。
- (2) 就農するまでの経過と年数  
平成18年3月に会社を退社後、同年4月に南会津町に引っ越した。  
同年4月から1年間地元農家で研修を行った。研修後、平成19年南郷トマト生産者として就農した。
- (3) 技術の習得方法  
南郷トマト副組合長の酒井陽臣氏のほ場で、栽培の準備から収穫までの一連の流れを習得した。
- (4) 過去の農業従事経験  
なし
- (5) 農地の確保方法  
トマト用普通畑約30aをJA、生産組合を通じて確保する。農地主との交渉はJAにしてもらった。
- (6) 資金の確保方法  
ア 自己資金総額 700万円

イ 借入れ

県の経営開始支援資金 100万円

南会津町経営開始支援金 70万円

(7) 住宅の確保方法

ア 生産組合、JAの紹介で、現在住んでいる家を借りる。家の近くに農地を確保してもらう。

イ 生産組合、JA

(8) 地域とのつきあい・所属団体など

ア トマト研究部、界公民館役員（現在は公民館館長）

イ 地域の行事には積極的に参加する。

(9) 生活を支えた補助的収入

地元スキー場でのアルバイト

(10) その他（努力を要したことなど）

子どもの教育で環境が変わって、周囲の友達とうまく付き合っているのか、また、収入が下がったりした場合生活が成り立っていくのかなど・・・考えることがある。

## 5 国・県・市町村等の受け入れ支援措置の活用

(1) 利用した支援制度：農業振興普及部の支援を受けながら、県農業振興公社の経営開始支援資金を借入れした。

南会津町の3年間の助成金

(2) 役に立った支援：JAから月2回の南郷トマト情報の提供。週2回のJA、農林事務所からの圃場への視察で、現状の育成状態を見てもらい、アドバイスを受ける。

## 6 就農しての感想

(1) 良かったと思うことなど

会社にいたときのように社内や社外の人間関係に振り回されずに、集中して仕事や生活ができたこと。一生懸命頑張っていると、周りで田畑仕事をしている人から農業全般のアドバイス等をもたらえたとき。

(2) 苦労したことなど

年に1回しか栽培できない作物なので、ハイリスクになるようなチャレンジできない点。前年度に失敗した点を次回に生かしたり、様々な工夫をして成功に結びつけていく過程は大変楽しく感じる。

## 7 今後の目標・方針

就農1年目は22aでスタートした。2年目に1棟増設して25aに増やした。今後数年で30aまで増やしていきたい。また、他の作物栽培も考えて、冬場は作物加工をするなどして一年中農業に関わるようにしたい。

## 8 新規就農を目指す人へのアドバイス

農業は自己管理が大変なので、自分のペース配分を考えて計画を立てるようにする。作業が遅れても周りの人が助けてくれるなどと考えないこと。

地域の行事に参加して、地元の人々との積極的な付き合いをすることを勧める。